

ご利用児童様のマスク着用について

児童発達支援事業所おりーぶ てとて
管理者 竹田 祐真

いつも事業所の運営にご理解ご協力を頂きまして、誠にありがとうございます。

さて、先月新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策としまして、マスクの着用についての基本的な考え方が示されました。その考えを基に当事業所でのマスク着用についての検討を致しました。当事業所での対応につきましては、以下に記載しておりますのでご確認下さいますよう宜しくお願い致します。

【当事業所でのマスク着用についての考えと対応】

◎新型コロナウイルス感染症の基本的な感染対策として、マスク着用は極めて重要とされておりますが、一方でこれからの季節は、気温や湿度が上昇することで、熱中症のリスクが高くなることが懸念されます。また、マスクを着用することで子ども達の発達の妨げ(相手の気持ちを読み取ることやコミュニケーション力の低下など)になることも考えられます。

そこで、当事業所では…

1. 午前クラスご利用のお子様に関しましては、マスクの着用は奨めません。
2. 午後クラスご利用のお子様に関しましては、引き続きマスクの着用をお願い致します。

・理由としましては、屋内や車内にて換気をすることは可能ですが、ご利用児童様同士の適切な距離を保ったり、近い距離での会話を防いだりすることが難しいと判断したためです。

しかし、マスクを着用することで、人の表情を見たり、表情から気持ちを読み取ったり、口の動きを見て言葉を真似しようとしたり、コミュニケーション力を思うように育めず発達の妨げになりうる可能性も考えられます。その為、当事業所では療育提供をする支援員は透明マスクを着用して、支援員の表情や口元の動きが見られるよう対応していきたいと思えます。

※状況によっては、マスクを外す等、臨機応変に対応させて頂くこともございます。

一日でも早くマスクを着用せず安全に楽しく生活ができる日が来ることを願い、てとてでは、子ども達の笑顔を守りながら療育提供していきたいと考えております。引き続き、てとてでの活動にご理解とご協力をお願い致します。